

報告者：山口（チェリーハウス）

令和4年度 第2回 台東障害者地域自立支援協議会（くらしの部会）報告

1 開催日

毎月第3水曜日 10:30～12:00

リモート開催 6/15、7/20、8/17、9/21（4回）

2 検討した内容

（1）災害物資・備蓄品リストづくり

令和4年度検討テーマI「二次避難所の充実」に向けて、災害備蓄品のリストを作成した（別紙資料参照）。障害の特性から二次避難所で必要であると想定される備蓄品を、アンケートをもとに集約した。

高齢者が必要とする物資と重なるものもあるため、障害・高齢ですりあわせをした後、危機・災害対策課へ提出、二次避難所への備蓄について検討してもらうこととした。

・くらしの部会としては、数年にわたり「防災」をテーマに話し合いを重ねてきた。

障害当事者の声については、くらしの部会が集約し声を上げていく役割を担っても良いのではないかとの統一の意見が出された。

（2）令和4年度講演会・勉強会について

勉強会①「災害対策について」

令和4年9月21日 10:30～11:30

講師：台東区危機・災害対策課 栗山係長

・災害時における基本的行動・在宅避難の心得について、災害情報についてのお話をいただいた。

・くらしの部会員との質疑応答を行った。

一例）災害時の避難所の開設方法について

障害分野と町会との連携について

災害情報取得媒体のおすすめについて（台東区防災アプリ）

避難行動要支援者名簿の町会への配布状況（50%）について

※質疑からは、町会の高齢化によって災害時の対応が難しいという課題が見えてきた。

避難行動要支援者名簿は、町会配布率が50%となっており、配布率の推移も横ばいという。個別避難計画も地域の支援者を記載する欄が埋まらないという状況があり、平時から地域での横のつながりの必要性が感じられた。

勉強会②「(仮) 障害当事者の被災体験について」

令和4年11月22日 10:30~12:30 (開催予定)

講師：宮城県南三陸町在住 鈴木氏

- ・今年度の講演会・勉強会の内容を検討するにあたり、当事者を交えての勉強会やディスカッションなどを行えないかとの意見が出された。

これまで二次避難所の充実に向けて話し合いを重ねてきたので、実際に被災された当事者の方に生のお話しをお聞きできないかと、南三陸町にて被災された知的障害の息子さんを持つ親御さんに避難所生活のお話しを聞かせていただくこととなった。

ZOOMにて開催予定。

3 その他

- ・各事業所における、コロナウイルス感染状況、検査状況、コロナ対応方法の共有。
- ・各事業所における職員の人出不足の現状について意見交換。
- ・移動支援、通院支援の受け入れ先がなく、利用が出来ない状況。意見交換と情報共有を行う。
- ・部会員の増員（6月部会より参加）

4 今後のスケジュール

(1) 令和4年度後半の検討テーマⅡ「災害時の情報伝達」についての検討

(10月部会より検討開始)

- ・地域で孤立していたり、制度の狭間にいる障害当事者への情報伝達方法について、災害時にどのように伝える事ができるのか検討する。

(2) 令和4年度 ぐらしの部会勉強会「(仮) 障害当事者の被災体験について」

令和4年11月22日(火) 10:30~12:30 ZOOMにて開催予定。